

madame

創刊 2013年1月1日(初号) 毎月20日発行 | 第24巻 3号 (通巻441号) | 平成24年7月1日(木) 創刊

毎月20日発売

# FIGARO

フィガロジャポン

japon

3

mars 2013

N°441

定価 650 yen

別冊付録 | Shoes & Bags Best 321

靴に恋して。  
バッグを愛して。



インターネットアプリ FIGARO Plus 運動

インタビュー  
市川染五郎

太田莉菜が着る  
シャネルのオートクチュール。

強く詩的に、春のプラダ劇場。

最新グッチエレガンス。

ルイ・ヴィトン  
の新世界。

化粧上手と言われたい

## 春色メイク大革命!

李家幽竹さんがおすすめします

## 春のスーパー開運旅。

金澤若松 大分 鹿児島

愛を紡ぐ  
ショコラ物語。

# 流行予報

2013年トレンドキヤッチ

# 176



Kingsu

1



Downstairs

2



Paper Chandelier

3

Falling Diamonds Mirage



4

Plumen & Drop Cap Pendant



5

## 85 新時代を照らす、照明ニューフェイス。

そのみで始まる省エネ電球をはじめ、環境、エネルギー問題への配慮と魅力的なデザインの双方を実現した照明が続々誕生。LED光源を生かして光のオブジェとしての美しさを探ったものがあれば、シェード自体が圧倒的な個性を放つものも、光の表情もより豊かになっている。世界の新デザインが集結する4月のミラノサローネは今年、照明展の開催年。新作にも注目！

1 エッジの効いたフォルムとシェードの深い色彩の調和。デンマークを代表するデザイナー、セシリエ・マントフの「ライトイヤーズ、ミンガス」小 ¥45,150、大 ¥75,500/ともにリン・インクープ 3 脚立とLED、これまでなかったシャンデリア! ペルトヤン・ボットのDH PH「ダウンステアーズ」6段 ¥787,500、4段 ¥577,500/シボネ青山 3 素材は紙。スタジオ・ヨブのデザインによるモイ「ペーパー・シャンデリア」¥320,145/トニー・キッチン&リビング 4 上部のLEDの光を受けてクリスタルの粒が揺めく。「フォーリングダイヤモンドミラージュ」¥186,900/トニー・キッチン&リビング 5 蛍光管が躍動的な姿を見せる省エネ電球「ブルーメン001」各 ¥3,150。今年春には専用ペンダントも発売予定(価格未定)/以上リン・インクープ 6 リング裏側のLEDが壁を照らし、光の中にリングが浮かび上がる流動的な発想の照明は今年発売予定。デザインアワードにも輝く名品。カテラーニ&スミスの「Sory Giotto」(価格未定)/ル・ミナベウ東京



「カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リビングの起源—」

3/20-6/3 国立新美術館(東京・六本木) www.nact.jp



「ふたりのイームズ: 建築家チャールズと画家レイ」

監督・脚本/ジェイソン・コーン、ビル・ジャグー 2011年、アメリカ映画 84分 配給/アップリンク 5月より、渋谷アップリンク(03-6821-6821)ほかにて公開予定

## 87 今年再注目、イームズ・ブーム再来の予感。

今春、ミッドセンチュリー・モダンの展覧会が開催に。当時のデザインを牽引したチャールズ&レイ・イームズのドキュメンタリー公開もあり、イームズ・ブーム再来? 独創的で実験的な活動とふたりの好奇心や遊び心は、喜びに満ちた生活のヒントをくれる。

### Personal View 作原文子 スタイル

## 88 インテリア界がコミュニケーション? 「森を愛する集団」って?



いま最も興味あるクリエイションのスタイルは、さまざまな分野で活動する仲間が集まり、ひとつのプロジェクトをシェアして完成させるスタイル。コペンハーゲンで出会った「森を愛する集団」は、まさにそれをポジティブに実現している集団。www.detours.biz

## 86

### いま知っておきたい、若手デザインユニット。

オランダを拠点とするBCXSXYは、ボアズ・コーヘンと、山本紗弥加のユニット。伝統的な手仕事に目を向け徹底的にリサーチし、作品に落としこむプロジェクトで、国際的にも注目されるふたりだ。大阪のガラス工房と実現させた昨年のシリーズに続き、日本の工芸を現在調査中だそう。今年の活動は、要チェック!

1 透明から白まで6段階のグラデーションを持つガラスの器シリーズ「in between」。今年、アンフラマンズより発売予定。2 出合った人々の文化の源を探る「Origin」シリーズのパート2「Balance」。イスラエルの元遊牧民、ペドウィン族のカーペットの模様が始まり、彼らと共同制作した。



1



2



3